

# お祝いと感謝と

羽咋高等学校 同窓会会長 轟 千栄子



羽咋・川原(高27)

さまの新任会長に対する配慮がとて  
もうれしく、肩の力も抜ける思いで  
した。ありがとうございます。昨  
年の総会には皆様に私の拙い歌を聞  
いていただき、霞ヶ関の国会議事堂  
を見下ろす会場で歌っている自分を  
不思議に思ったものです。楽ではな  
いけど楽しい人生！です。

関東同窓会設立60周年おめでと  
うございます。

新しい令和の始まりの年に迎える  
60周年、昭和・平成から連続とつな  
がる関東同窓会にかかわる皆様方の  
熱い思いと新しい時代への期待に胸  
が熱くなります。始めること、続け  
ること、そしてより良くと発展させ  
ること、諸先輩方のご苦勞と気  
概にあらためて敬意を表すると共に  
深く感謝いたします。

本部同窓会の会長を引き継いで丸  
二年その間、関東同窓会総会に二度  
出席する機会に恵まれ、皆様方のご  
活躍と人脈、ネットワークに感心し  
刺激を受けました。また役員のみな

去年はみなさまからお寄せいただ  
いた運営協力金で母校にプロジェクト  
ターを贈り、後輩や教職委員のみな  
さまに喜んでいただいていることは  
同窓会だよりでお伝えしたとおりで  
す。今後も母校と連携を密にして大  
切に使わせていただきたいと考えて  
います。ご協力ありがとうございます。  
本部同窓会も総会に向けて準備を  
進めています。少しずつこれまでの  
運営を見直し、多くの会員のみなさ  
まに現状をお伝えし、その上でみな  
さまの声が届く同窓会にしたいと  
思っています。これからも皆様のお  
力添えをどうぞよろしく願います。

# 羽高生とともに

羽咋高等学校 校長 釜 徹



のを感じます。良い学校に来たなど  
思う瞬間です。生徒会は立派で、自  
分たちの力で羽高祭など学校行事を  
盛り上げてくれます。その健康的で、  
のびやかで、素直で、誠実であるこ  
とが、学校の主流となっていること  
に、本校の素晴らしさを感じます。

羽咋高校同窓生の皆様には、日頃  
より、本校の教育活動に對しまして、  
ご支援ご協力を賜り、心より感謝申  
し上げます。昨年4月に校長に赴任  
し、二年目を迎えます。能登出身で  
ありながら、勤務先は、これまでは  
金沢地区の高校がほとんどで、能登  
地区の高校は初めてとなります。

校長の日課は、毎朝の挨拶運動の  
中に混ざるところから始まります。  
「おはよう」と言葉を掛けると、べ  
こりとおじぎしながら挨拶してくれ  
る生徒が多いです。挨拶運動は生徒  
会役員の生徒たちも率先して行っ  
ていますが、彼らの明るい表情に、以  
前の高校生が持っていた懐かしいも

さて、高校を取り巻く環境は大き  
く変わってきています。英語の民間資  
格検定試験の導入、主体性等も学力  
として評価しようとする大学入試へ  
と変わります。これまでの「受験勉  
強」では対応できない時代になりま  
す。また、少子化と学校学科の再編  
統廃合、教員の働き方の見直しと人  
材確保といった問題などがありま  
す。

地域間格差や学校間格差などが顕  
著になるかもしれません。しかし、  
羽咋高校は、これまで通り「文武両  
道の実践」を掲げながらも、時代の  
変化に對応し、地域の基幹校として  
生徒とともに歩んでいきます。

# 関東同窓会 創設60周年 記念座談会

日時：3月10日(日)  
午前11時～午後1時  
会場：学士会館にて



司会  
森村睦子(高26)

司会  
設立60周年に向けて、これまでの会の歩みと今後の活動のビジョンを語っていただきたいと思います。始めに本多会長お願いします。

本多

関東同窓会は、今までは、第2代会長の牧野康平氏(中1)が最初だと思っていましたが、昭和34年に初代会長の室野暁二氏(中1)が関東在住の方々へ声をかけ、集まったことがスタートでした。



名誉会長  
倉部行雄(中18)

倉部

私が調べてみたところ、実質的には第3代会長の泉和正氏(中8)が先駆的行動を行っておられたので、それを形としてまとめ、メンバーを集める努力を始めたわけですね。志を同じくする仲間が集まってきて、故郷への懐かしさとともに、会の在り方にも「こうあってほしい」との要望がでてきました。

赤池清

関東支部は、会員名簿は発行していませんでしたが、西井信夫事務長の提案で毎年発行するようになりました。名簿により、旧交を温めるだけでなく、学生の進路の相

談、各界の先輩との仲介など、会員相互の連絡がとれるようになってきました。

倉部

平成6年の泉会長からの会長交代の時には、適任の方として私は古池國雄氏(中11)を推薦し、古池さんは快く引き受けてくださいました。

赤池清

当時は、会費500円で参加人数も多くなかったため、収入が少なく不足分は泉会長が私費を提供してくださっていました。この課題解消の為、懇親会費の値上げを検討しました。他校は値上げをしているが羽高は学生に多く参加してもらおうと「タダにしては」と提案したが却下された。

倉部

3年後、私の「学生の参加費を下げてみてはどうか?その代わり、タダでは学生も遠慮するから1000円だ」という意見が採用され現在に続いている。

川村

学生参加費が1000円というのは、そういうことがあり、今まで続いているんですね。



会長  
本多群司(高16)

本多

古池会長は面倒見の良い方でした。よく丸の内の古池さんの事務所集合しました。平成14年の本部80周年の時、関東に100万円お願いしたいと連絡がありました。事前

に各支部への趣旨説明がなく上意下達の様だと、役員会が紛糾しました。

赤池清

OBにバス製造メーカーの役員もいるし協力できたのでは、という意見があった。

赤池清

その時は、古池さんをはじめ、池田さん、倉部さん、小俣さん、里見さん達が大半を出されましたね。

本多

古池氏は14年間会長を務められました。会長の交代にあたっては、当時幹事の分際で(笑)私が直に会長に相談、第5代会長には竹宮隆氏(高5)に立っていただきました。本部80周年の件で関東支部長ではなく、会長に名称変更となり、後日、関東同窓会となりました。



副会長  
赤池清(高20)

赤池清

個人情報保護法の影響で名簿の発行が難しくなりました。広告の収入がない時の平成18年、里見副会長が名簿の代わりになるものとして会報の発行を提案し、名前を「絆」と名付けました。創刊号の特集として、前田家18代当主の前田利祐氏との対談記事を掲載しました。本多さんが広告や寄付の

呼びかけを積極的に行って、資金集めに奔走してくれました。

倉部

支部独自でこのような会報を発行しているところはなく、県人会の中でも評価は高いです。会員のみなさんもとて楽しんでいただいています。この会報で、同窓生が母校を思い出して、年一回の総会・講演会・懇親会に足を運んでくれるきっかけになると思います。

本多

設立50周年の時、講演会などのイベント(※注)も企画し、大盛況で赤字を解消することができました。一度度分を賄うくらいの黒字になりました。

赤池清

「関東同窓会」では、設立以来50数年にわたり、会員の方々による年会費で事務運営を行ってきました。

「運営協力金」については、本部決定の前に前執行部副会長が関東の役員会に趣旨説明と協力要請に上京され、事前協議を重ねました。その中で、11月の総会で提案し了承を得ても、全会員への年会費廃止の趣意書と多年度納入会費の返却と寄付のお願いの送付などの事務手続きがあり、関東では2年遅れになると伝えた。

また、年会費廃止に当たり、絆の製作費(6月発行)が不足するが、運営協力金の納入をしないで、本部役員理解を得られるのかと確認の上承諾してもらった。この協議を踏まえ、平成28年度の本部総会での決